

千代田
区職労

退職者会 ニュース

第2017-8号
17年12月15日
退職者会
ニュース
編集委員会
3221-0052

歴史の重みと面白みがぎっしり詰まった 古刹と蔵の町を歩く

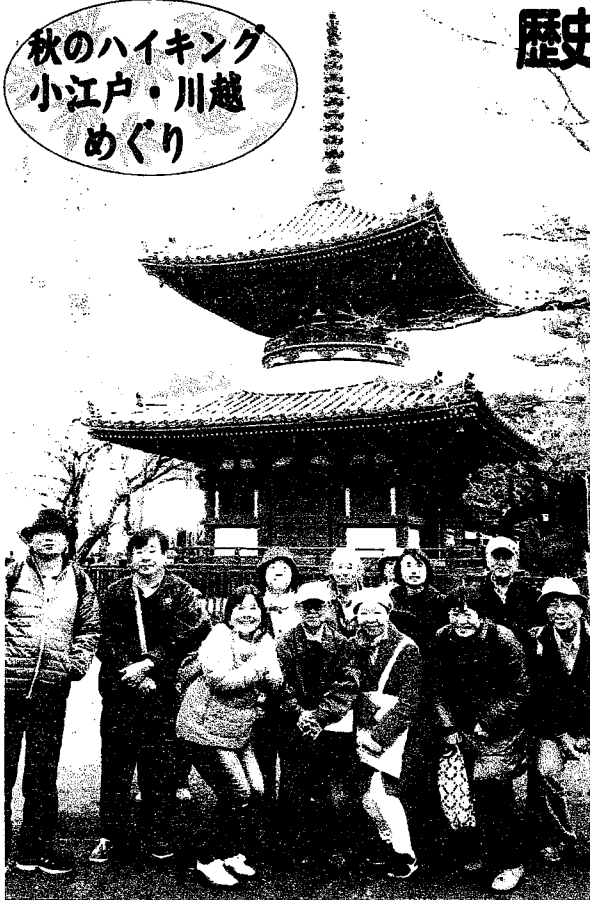
退職者会、秋のハイキングが十一月二十四日(金)に行われまして。
会員十四名が参加し、天候にも恵まれ紅葉と江戸・明治の歴史残る秋の小江戸川越の散策を楽しみました。

喜多院ではまだまだきれいな紅葉が…

十二時五〇分、川越駅に集合し十三時一〇分の小江戸名所めぐりバスに乗車。十五分ほどで人気の観光スポット「喜多院」に到着。「喜多院」は徳川家とのゆかりが深く、江戸城から移築された建物の多くが重要文化財に指定されていて、また、だるま市が有名です。

「川越大師」としても親しまれています。三代將軍家光誕生の間や、春日局化粧の間など拝観し、紅葉も見事な庭園を写真におさめました。五百羅漢では(実際は五三八体)自分と似た顔や同じ千支の石仏を探す会員の姿も。一時間ほどの散策を楽しみ次の目的「蔵のまち」へ徒歩で移動。

途中、パルテノン神殿を思わせる「ドーリア様式」



喜多院・多宝塔の前で記念撮影

秋のハイキング
小江戸・川越
めぐり

小江戸川越うきうきと 渡辺富子

もう何十年も前になるけれど、婦人部で来たことがあって、「いも膳」で名物サツマイモ料理に感激したのを思い出しました。あの時一緒だった人たちはどうしているだろうと思いを馳せながら、小江戸川越をうきうきと歩きました。

喜多院では、江戸城から移築された徳川3代將軍家光が生まれた部屋を見、家光の乳母・春日局の書院には人が入れそうな大きく立派なつづらが置かれていました。衣装ケースなのかしら、中に入って着物の出し入れをしたのでしょうか。

その後、蔵の町へ。15時の「時の鐘」を聞いて歩いた蔵造りの町並み、大沢家住宅は大火にも負けず、さすがにどっしりとして風格を感じました。醤油蔵もすてきでした。もちろん、おしょう油買いました。



歩いた後は、足と喉とお腹をケア!?

の柱が有名な川越商工会議所、大正七年に建てられた「ネオ・ルネサンス様式」の埼玉りそな銀行川越支店(旧第八十五銀行)などを見ながら十五時に鳴る「時の鐘」を目指しました。

川越のシンボル「時の鐘」を聞き、蔵の街へ

「時の鐘」は江戸寛永永年間に建てられ、現在の鐘楼は明治の大火後再建されたものです。残したい日本の音風景一〇〇景にも選ばれている鐘の音にしばし江戸のまちを想い、その後「蔵のまち」を自由に散策、参加者思い思いに蔵まち通り、菓子屋横丁などを回り、買い物を楽しみました。

川越散策 橋本 泉

前日の雨と低気温から一転して秋晴れの散策日和になった11月24日、退職者会の「川越散策」に参加しました。東武東上線沿線に十年以上住んでいますが、小江戸と呼ばれる川越には行ったことがなく、楽しみにしていました。

バスで最初に向かったのは喜多院でした。川越の喜多院に、家光公誕生の間や春日局の間があるのが不思議でしたが、江戸城から移築されたものということで納得。重機も無い時代に、今の千代田区から運んだその技術に驚きです。庭園の紅葉は見頃をやや過ぎていたものの、所々にある赤いもみじがきれいでした。

大正ロマン夢通りのレトロな洋風建築物はきれいに保存されており、「時の鐘」は時間になると自動で棒が動いて鳴るのを見て感心。蔵造りのお店で食べたお芋のお菓子は、もっちりして温かくて美味しかったです。またゆっくり散策したい町でした。

今回は名所めぐりのバスも利用し、無理なく川越の名所を巡ることができました。終了後は恒例となっていた交流会。川越駅近くのお店で喉を潤しお腹も満たし、賑やかに交流して秋の小江戸川越ハイキングをお開きとしました。

2018年度 退職者会総会

日時 2018年1月19日(金)
午後3時開会
場所 千代田区四番町集会室
都営地下鉄新宿線市ヶ谷駅
A3番出口から5分
総会終了後、新年会を行います。

2018年退職者会新年会

総会終了後午後6時から
麹町スタジオ エービーロードにて
東京メトロ半蔵門線麹町駅3a番出口すぐ

総会、新年会とも会員の皆さんの
参加をお待ちしています。

次期退職者会役員募集

2018年度定期総会に先立ち、総会で選出される次期役員(会長、副会長、事務局長、会計、常任幹事)を募集します。希望される方は、あらかじめお申し出ください。申し出は書面でも電話(下記番号)でも受け付けます。
電話・03(3221)0052



11月3日、国会議事堂を4万人が取り囲みました

欠かさず参加している「一九日行動」 十二月三日には四万人が国会を埋めつくす

退職者会は二年前の九月一日に憲法違反の「戦争法」が強行可決されて以来、毎月一九日に国会前で行われていた集会を「一九日行動」と名付けて、欠かさず参加し続けています。この行動が続く限り、二年前に一〇万人が国会を取り囲んだ「市民と野党の共闘」の力が絶えることなく継続・発展し、その力が憲法を生かす政治、核も戦争の危険もない平和で国民の生活が守られる社会の実現につながると確信するからです。

「一九日行動」はその時々、退職者会が参加したこの一月、十一月に限ってみると、一〇月十九日、十一月十九日の集会は「安倍首相の退陣」と「9条改憲を許さない」をスローガンに掲げて取り組まれ、会の参加者はそれぞれ六人と七人でした。一〇月はさ

らに四日「辺野古新基地建設反対日比谷集会」、五日「安倍政治ノー、銀座大行進」がとりくまれ、それぞれ七人、四人が参加しています。

憲法公布七一年 「九条守れ」の声響く

憲法公布七一年目の十一月三日には「一〇万人国会包囲大行動」が行われ、四万人が国会議事堂をぐるりと取り囲みました。この集会には会から十三人が参加しました。標題の一〇万人には及びませんが、十二月十九日には今年最後の「一九日行動」が行われ、その時期に四万もの人が国会の周りを立錐の余地なく埋め尽くしたことは、9条改憲に多くの人が危機感を持ち、「戦争

安倍9条改憲を許さない、安倍内閣の退陣を要求する
12・19国会議員会館前行動
12月19日(火)午後6時30分～
衆議院第2議員会館前
集合・午後6時 旧永田小学校前
主催：安倍9条改憲NO！
全国市民アクション実行委員会
総がかり行動実行委員会

反対」「9条守れ」と行動に立ち上がっていることを伺わせ、参加者相互に大いに励まされるものでした。
十二月十九日には今年最後の「一九日行動」が行われます。寒い中ですが、一緒に「9条守れ!」「戦争したが総理はいらない!」と唱和しましょう。

都退協総会開催

幹事に藤本副会長再任

各区や都の局の職員組合に対応して作られている退職者会の連絡協議会「都退協」の総会が十一月二十四日に都庁で開かれました。この日は川越散策のイベントと重なったため、水上会長が代表参加し、都退協幹事の藤本さんとの二人での参加となりました。

総会では各区や局の退職者会の活動が生き生きと交流され、大変参考になりました。年金・社会保障の改悪に反対し、安倍政権の危険な戦争への道にストップをかけようと、大いに盛り上がりました。

この総会で藤本副会長が幹事に再選されました。

千代田区職労大会開催

新委員長(退職者会相談役)に城直ゆう子氏

千代田区職労の定期大会が十一月十七日に開催され、退職者会から来賓として西本副会長が出席しました。

この大会で留場委員長が退任し、城直ゆう子さんが新委員長に選出されました。

城直新委員長は、退職者会の会則に基づき退職者会相談役に就くこととなります。

国民健康保険の広域化がもたらすものは？ 保険料への影響(負担増)懸念

来年4月から、いままで市町村が行っていた国民健康保険の財政運営を都道府県に移行する制度変更が行われます。この変更でどんな影響が懸念されるか、国保のエキスパート・西本退職者会副会長に解説してもらいました。

国保料(税)値上げではなく、国庫負担の増額を

この制度変更は、二〇一五年五月二七日に強行された「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法の一部を改正する法律」によるもので、国保の歴史の中でもかつてない大変更とされています。

◇ ◇ ◇

新制度でも、市町村が被保険者証を発行することや国保料を決めたり徴収したりする点では現在と変わりません。大きく変わるのは、都道府県が国保財政を一括して管理することです。

市町村の軽減措置は？

新制度では市町村が国保料(税)を決めるのに際して、都道府県は「標準保険料率」を目安として示します。強制ではないという建前ですが、市町村には圧力として働くことは明らかで、これまで国保料(税)の住民負担を軽減するために市町村

「安倍9条改憲NO!憲法を生かす全国統一署 準備をすすめているのです。」

このような中で安倍9条改憲NO!をすすめる全国市民アクション実行委員会は「安倍9条改憲」反対の世論をさらに強く大きくできれば9条改憲の発議をさせないことは十分に可能だと呼びかけしています。「安倍9条改憲NO!憲法を生かす全

いまこそ3000万署名を広めよう!

国統一署名(3000万人署名)は、そのための意

し、賛成を大きく上回っています。この大きな反対世論の前に、これら改憲勢力は今のところ、改憲案で合意する確たる見通しが立っていません。しかし安倍首相はすでに、自民党の憲法改正推進本部の人事を組み替えるなど憲法9条に「自衛隊」を明記して、「戦力を保持しない」と決めた9条2項を空文化させる「戦争する国」にさせる



毎日新聞記事(9/10)抜粋

来年4月に国民健康保険(国保)の運営主体が市区町村から都道府県に移る制度変更に伴い、市区町村の35%は来年度、加入者の支払う保険料が上がると予想していることが共同通信の調査で分かった。保険料の急激な上昇抑制などを目的にした国の財政支援の配分が決まっていないため、半数近くは保険料の変化を「分からない」と回答。保険料の変動幅をはっきりしていない。配分額によっては保険料が上がる自治体がさらに増える可能性もあり、国の支援に対する不安の声も上がった。高齢者や低所得者が多い国保加入者の負担増が懸念される。

納付金に縛られ徴収強化へ

市町村が住民から徴収する国保料(税)などを都道府県に上納させる「納付金」の仕組みも問題です。都道府県が一定の基準と条件で計算して決める納付金(税)の徴収を強化するしかありません。

市町村が住民から徴収する国保料(税)の金額になるかが各市町村の国保料(税)を左右します。しかも納付金は「100%完納」が原則で減額は一切認められません。そうなると市町村は住民から集める国保料(税)の徴収を強化するしかありません。

◇ ◇ ◇

自営業者や農林水産業者の割合が年々低下し、無職の割合が増えることよって加入者の所得が下がっているのに、国の負担が減らされただけ保険料が値上げされ、払えない加入者が増えた分がさらに保険料値上げに転嫁される。ここに国保の構造的な行き詰まりがあり、「都道府県化」では悪化はしても改善することはないのです。国庫負担増額を政府に迫るなど高すぎる国保の抜本的な改革を求め、引き続き運動にとりくんでいくことが大切です。

憲法上開かなければならない特別国会を四ヶ月近くも放置して、ようやく九月二十八日に開会した途端、一切の質疑抜きで冒頭解散。これは森友・加計疑惑に蓋をして、今のうちなら何とか選挙で逃げ切れる、と踏んだ安倍政権の党利党略私利私欲に基づく解散権の乱用であることは明白でした。それだけに降つてわいたこの総選挙で、市民と野党が結束し、共闘の力で安倍政権に痛打を与えるチャンスでもある、と九月二十六日に民進党を含む野党四党と市民連合が政策合意を交わし、小選挙区での一対一の選挙戦

をたたかう土台を作り上げたのだった。ところが、翌々日の二十八日に開かれた民進党の議員総会で、いきなり事実上の党解体に等しい希望の党への合流が決められ、前々日の市民と四党の合意は一方的に反故にされてしまいました。二〇一五年九月の安保法制(戦争法)強行採決以来、二年間にわたって共同行動を重ね、昨年の参議院選挙では野党統一候補の十一選挙区での勝利という実績を積み上げながら築いてきた「市民と野党の共闘」。それが、ここぞという時に解消してしまうのか、という無念さと無力感に襲われた個人・市民団

体は多かつたと思われれます。よみがえった野党共闘 そんな時、市民運動とともに安保法制や共謀罪に反対した議員を中心に立憲民主党が立ち上げられました。そしてただちに日本共産党、社民党、自由党とともに市民連合と一体で共闘の再生が全国各地で努力され、二四九の小選挙区で候補者の一本化をはかって取り组まれました。突然吹き荒れた共闘壊しの逆風の中で、一度は吹き飛んだかと思われた共闘の旗が、短期間のうちに再びたなびいたという

総選挙 逆風の中、壊れなかった「市民と野党の共闘」 9条改憲は許されない

ます。枝野幸男代表は「安倍内閣に憲法を変えさせるわけにいかない」と表明、十二議席に後退した日本共産党の志位和夫委員長も「全国いたるところで『共闘・連帯のきずな』ができた」「立憲野党と力をあわせ安倍9条改憲阻止に全力をあげる」と表明しました。

市民連合の中野晃一さん(上智大教授)は「多くの国民は安倍政権の存続を願って圧勝させたいわけではない、早晚支持率維持は困難になる。たたみこむように改憲に動いてくる可能性が高い。9条改憲を許さない幅広い連携を国会内外で急いでつくる必要」を訴えました。

退職者会は、この総選挙に当たり、会の理念ともいえるべき戦争のない平和な世の中と高齢者を始めとした国民が安心して暮らせる社会の前進・実現のために、積極的にかかわりました。選挙結果から、安倍政権による強権的な戦争する国づくり、くらしを壊す社会保障改悪がすすめられる恐れが強まっています。退職者会は座して居るわけにはいきません。当面、差し迫っている安倍政権による憲法9条の改憲発議を止めるために、がんばりましょう。

ことは、やはり二年間に培われた共同行動の結束を示したといえるでしょう。 9条改憲を許さない連携を とはいえ、選挙結果は自公などの改憲勢力が、衆議院定数の3分の2を超えました。民意を反映しない小選挙区制度では、過半数にも達しない得票率でもこれだけの虚構の多数議席をつくることでできてしまいます。そんな中、野党統一候補三十二人の当選と、立憲民主党が五五議席で希望の党を抑え野党第一党になった意義は大きいといえ

脳梗塞体験記 予防等に役立つことを願って 服部明

五年前に脳梗塞を患い、今日までリハビリを続けていますが、左半身が麻痺という後遺症が残っています。脳卒中の予防等に役立ててほしいと思い、その体験を紹介してきました。今回は介護保険サービスについての経験を紹介します。



介護保険サービスについても日ごろから予備知識を得ておいた方がよいと思います。長期にわたるリハビリは介護保険に頼ることになるからです。「掛け金あつてサービスなし」などと揶揄される介護保険制度、毎年改悪が進む状況ですが、高い掛け金を支払っているからこそ、自分や家族に介護が必要な事態が生じたら積極的に活用しなければ損です。さて、不運にも脳卒中を発症した後遺症が残った場合、入院や通院による病院でのリハビリを終え(健康保険を使つての病院でのリハビリは期間が限定される)、なおリハビリが必要な場合や、肢体が不自由なまま日常生活を営まなければならない場合は、介護保険制度によるサービス(ホームヘルプやリハビリ訓練など)を受けることができます。

そのためには、住んでいる市町村に申請して介護認定を受けなければなりません。(脳梗塞などの特定疾病による場合は四〇歳になっていれば申請できる)申請が受理されると、自治体が「要介護」の認定を受けたらケア・マネージャーを選任して「ケア・プラン」を作ってもらい、そのプランに基づいて介護サービス事業者と契約して介護サービスを受けることができます。「要支援」の認定の場合は、住んでいる地域の「地域包括支援センター」で介護予防ケア・プランを作ってもらい、事業者と契約してサービスを受けます。「要支援」の人の訪問介護Ⅱ(「要支援」の人の訪問介護Ⅱ)ホームヘルプと通所介護Ⅱ(「要支援」の人の訪問介護Ⅱ)サービスは、介護保険制度の改悪により平成二八年度から自治体によるボランティアなどを活用した支援に順次変わっていきます。リハビリサービスについては従来通りのサービスが受けられます。(次ページへ続く)

健康長寿論考(6)

認知症にならないために… 軽度認知障害(MCI)に気づく 松浦永司



前回は認知症による「物忘れ」と加齢による「物忘れ」について説明しました。今回は軽度認知障害について解説します。

前回は認知症について調べてみました。認知症は症状が進んでしまうと治療が難しくなります。性格や人格までも損なわれてしまうことになり得ます。昔から「ボケ」をなるべく遠ざけるようボケ封じの寺社が各地にありました。人々がいかにボケを恐れていたか分かります。

現在では認知症と名称が変わりこそすれ、私たち高齢者にとって出来るだけ避けたい病気であることには変わりありません。しかし、認知症は急に発症しあつという間に進行するわけではありません。初期の段階を見逃して気づいたときにはすでに認知症が進行していた、という事例が多いと言います。



認知症を発症する前に「軽度認知障害(MCI)」と言われる症状が現れる場合があります(以後、MCIと表記)。MCIは認知症と診断するには症状が軽く日常生活に支障をきたすほどの障害は現れません。この段階でしっかり治療すれば認知症にならずに元に戻る可能性が高いのです。しかし、MCIをそのままにしておくと、5年後には半数の人が認知症に移行してしまいます。

MCIは日常生活に支障がない状態なので、気が付くことが難しいとも言えます。人や物の名前が出てこなかったり、水道を閉め忘れていたりしても年を取ったんだから仕方ないと思っで見逃してしまいがちです。確かに加齢による物忘れとMCIによる物忘れを判断するのは難しいです。ただ、多くの医師が指摘することは、本人の自覚だと言います。物忘れや日常の行動の中で「あれっ」と思うこと。いつもは忘れない大事な事や人との約束、料理の手順等、いつもは忘れないようなことをなぜか忘れてしまう。そういう時

には心の中で「あれっ、変だな」と思うものです。そんな「あれっ」と思ったときがまさにMCIの兆候であるかも知れません。「あれっ」が何度か続いたときにはすぐに「物忘れ外来」などの専門医に相談することが重要です。

また、日常の行動の中で判断しやすいのは歩行の速度です。歩行障害がないにもかかわらず以前より歩く速度が極端に遅くなった、後ろから来る人にどンドン抜かれてしまうといった状態になった時にはMCIを疑ってみます。

さて、MCIと診断されたらどのような治療を進めるのでしょうか。MCIはまだ病気の段階ではないので、基本的には認知症へと進行させないために日常生活の改善や認知機能の訓練などが中心となります。

魚、野菜、果物を中心とした食生活の改善。適度な運動、特に早歩きウォーキング。人との交流を増やす。パズルやゲームをしたり手紙や文章を書くなど知的行動を増やす。認知機能のトレーニング等。これらは医者に通って治療を受けるというより、医者のアドバイスを受けながら日常生活の中で治療を進めていくということになります。

MCIは正常から認知症に至る過程で正常の脳の働きが少し弱ってきた段階です。脳に刺激を与えたり栄養を与えたりすることによって、元の正常な脳に戻すことができるのです。つまり、MCIになる前に日常生活の改善や認知機能の訓練をしていけば、いつまでも明晰な脳を保つ可能性が高くなります。

年を取ると何かと億劫になり、出かけるのも人と交流するのも小難しい本を読むのも避けてしまいがちです。若い頃の事を思い出し、何でもやってみよう、何でも見てみようの精神で齢を忘れて生活することが、認知症予防の最大の秘訣だと言えるのかも知れません。



(前ページから)

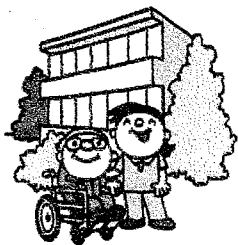
病院での入院リハビリが終了すると同時に、自宅での介護保険によるリハビリサービスに移行することになりますが、スムーズに移行するためには、入院中に家族の方が通所や訪問によるリハビリデイサービスを行っている近所の施設を調べ見学などしておくことや、上肢(手や腕)に麻痺が残っている場合は作業療法(上肢の機能回復を目的とした訓練)を行える施設を探しておくことも必要です。私の場合は、住んでいる地域に作業療法士のいる訪問介護事業者が少なく、ケアマネージャーは事業者の選定に苦労したようです。

介護保険によるリハビリを開始する準備については、ケアマネージャーからケアプランに基づく様々な情報とアドバイスを得られます。

入院中に家族のやることは上記のほかにも、居室内の改装や補助器具の設置などがあります。もし車椅子での生活となった場合は、かなり大ごとです。居室をバリアフリーに近づける改装工事が必要かもしれません。廊下、階段、浴室、トイレなどへの手すりの設置、介護用ベッドの導入などは軽度の障害でも検討し、実施に移さなければなりません。こうした費用の掛かる準備は、介護認定がなされてい

ば、介護保険適用で負担費用は少なく済みます。ただ介護用品はかなりの高額で、たとえば入浴の際に洗い場で座る椅子が一万円以上もしますが、ほぼ機能的に変わらない椅子をホームセンターで求めれば十分の程度金額で購入できる物もあります。介護用品の本人負担額とつき合わせて検討し、代用品を考

入院中に家族のやることは上記のほかにも、居室内の改装や補助器具の設置などがあります。もし車椅子での生活となった場合は、かなり大ごとです。居室をバリアフリーに近づける改装工事が必要かもしれません。廊下、階段、浴室、トイレなどへの手すりの設置、介護用ベッドの導入などは軽度の障害でも検討し、実施に移さなければなりません。こうした費用の掛かる準備は、介護認定がなされてい



(長い連載になってしまいました。以上で終わりです。ありがたうございました。)

近況報告 生活を見直して 松浦永司

2011年、若干の不安はありましたが65歳までの再任用をすることなく60歳で退職、10万円そこそこの年金での生活が始まりました。幸い退職金と積立年金があったので生活費の足りない分はそこから補填すればいいと高をくくってはや6年半。

65歳で年金は満額支給となっているのにもかかわらず、ふと気が付いてみるともう預金残高は雀の涙。途端に不安に襲われあわててキリギリスの生活を見直さざるを得なくなりました。

スーパーではいちいち値段を計算しながら一日分の予算とにらめっこ。もちろん外食禁止。会員費のかかるネットサイトは解約、一か月数千円も購入していたサプリメントも精査減薬。それでも、節約は微々たるもの。

そこで、ついに我がマイカーに注目、最近はめっきり乗らなくなり、つい先日もバッテリー上がり

で二万円の出費。ついに処分の結論となりました。駐車場代月に2万余、税金・保険で年に6万余、車検、ガソリン代等々、月にならすと3万円以上の節減になります。

これで、計算上は妻と折半の生活費も何とか賄え、年金の範囲内での生活の目途が付きまして。

とは言え、遊興費や旅行代はこれ以外の出費です。もちろん飲み会も計算に入れねばなりません。節約・節減と言っても限度があります。もうこれ以上の努力は無理。さて、どうしたものか。

と言っても考えられるのはただ一つ。いまだ現役の給与所得者である我が妻のお情けにすが

るしかありません。と言うわけで、毎日、おいしい夕食を用意してご機嫌を取りつつ、交渉の口火を切る機をうかがっている、今日この頃です。

私の近況

前号につづき、退職者会幹事の「近況」も合わせて掲載します。



近況報告 前原京子

2人分の夕食の買い物、息子の食事療法を始めて早や9ヶ月。毎日のことなので少しでも変化のあるものと考え

るのだが、1食600カロリー、塩分2グラム弱、これってどのくらいかわかりますか？塩だと2グラム、醤油だと10ccで2gです。毎食計量計とにらめっこの毎日です。一人分は無理なので、二人分作って一緒に食べていたおかげで、4ヶ月で10キログラムも体重が減り体は軽くなりました。

なんで母親がという人もいますが、いろいろな事情があり、妹たちからは「生甲斐できてよかったね」と言わ

れています。息子の病気は心不全で一生食事は気を付けなければならず、3ヶ月ごとに管理栄養士さんのチェックを受けています。味は出汁を利かせ香辛料の力も借りて変化をつけています。夫の命日も近づき、8年間一人でボーっとしていたと思うと、忙しくしていても、旅行にも行けなくなっても、家の中でできる楽しみを見つけ、5時までは帰宅できるところまでの外出と心がけています。座ってすぐに食べられる幸を食物本来の味がわかるので大丈夫、「ごちそうさん」の一言に励まされています。



余った年賀状があったら、退職者会宛てに1枚出していただけませんか？

もう来年の年賀状の準備はお済ですか？宛名を書き終えて、予備の枚数を確保し、なお余裕が生じたら、一枚を退職者会宛てにいただけませんか！ 年が明けてから最終的に残ってしまったという一枚でももちろん結構です。

皆さんからいただく年賀状、それは会員のお元氣な消息を知る貴重な便りです。一言書き添えていただければ、会にとっては「お年玉」どころか「お宝」のように大切な一枚になることでしょう。

了承いただければ、会ニュースにも紹介したいと思います。



お久しぶりです 渡辺力也

10月に1.98万円上海2泊格安団体旅行に参加。最初に驚いたのは、予想外に東方航空の晩飯が美味しかったこと。翌日蘇州等の観光は体調不良？でパスして、午後から街中へ安いスマホを求めて、知り合いと中山公園カルフールと古北同店に行きました。古北に行く地下鉄で最寄りの駅を出たら、妙に人通りが少なく以前の古北の活気のある街並みと違う！「どうして？」って聴くと「この辺は皆店を閉めているよ！」「以前からのこの辺は中国人も外国人も買い物や食事でもっと混んでいたよね！」「以前って～一年も前でしょ！今買い物は百貨店やスーパーで品物だけ見て、スマホで京東や陶宝で買うからこの辺の店には行かない。食事の店は残っている処もあるよ、でも小売店は家賃が無駄だから皆辞めてる」例の「11. 11 自分のため買い物イ

ベントday」もスマホで盛り上がるらしい。しかしその日の大量ネット注文の為に全国で動員される配達員は何百万人！車両数も大量！その人たちはシャッター商店街や地方で定職が無い人たちの一時的な打工なので、その日の配送車には気をつけないと！と言うのが私の感想です。でも、格差社会の両側の人達ともにスマホで生活している！

帰りの送迎バスの現地添乗員の話では、古くからの二軒のカルフール(超大型スーパー)は残っているが、後に出来た新しい方のカルフールは既に閉めたそうです。日本でも柏や大宮の駅前デパートの大閉店時代を迎えています。中国人は老若男女問わずスマホを使いこなしている！が、我が日本ではオレオレ詐欺の被害者は多いのに、スマホ所有者の割合は……。買い物難民の氾濫ですね。